



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA-

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Sept. 1982

0-3

In everything, do to others
 what you would have them do to you,
 for this sums up the Law and the
 Prophets.

だから、人にしてもらいたいと思うことはなんでも、
 あなたたちも人にしてやりなさい。これこそ律法と預
 言者の教えなのだ。

(マタイオスによる福音書7章12節)

9月例会〔チャーターナイト〕

1982年9月25日(土)ーロイヤルNCB会館ー

1. メンバー集合 (0:00)

2. 登録開始 (1:00)

第I部 加盟認証状伝達式(2:00)

司会 谷川 寛
 奏楽 ドロシー・グレアム

開 会 会 長 山 中 秀 男

ワイズソング ー 同

聖書朗読・祈祷 大阪クラブ 岩 越 重 雄

讃美歌「234番A」 ー 同

加盟認証状伝達 日本区理事 松 崎 豊

バッヂ受領 会 長 山 中 秀 男

祝 辞 日本区理事 松 崎 豊

中西部長 篠 田 桂 司

大阪クラブ会長 遊 上 義 一

独唱「主の祈り」 ドロシー・グレアム

祝電披露

感謝答辞・メンバー紹介 会 長 山 中 秀 男

記念品受贈

YMCAの歌 ー 同

閉 会 会 長 山 中 秀 男

第II部 (2:50) 司会 正 司 泰 子

記念講演「みんなの者が一つになるために」

東和大学国際教育研究所教授 室 靖

インド舞踊

ヴァサンタマラ・インド舞踊団 ショクティ

ー 記 念 写 真 ー (4:10)

第III部 祝 宴(4:40)

司会 中 村 隆 幸

鏡開き・乾杯

ゲスト・出席クラブ紹介

閉 会 (6:00) P.I.P. 鈴 木 謙 介

THEME (1982~ '83)

I. P. OPPORTUNITIES
 through PARTNERSHIP.

R. D. GOOD WORK
 with GOOD HEARTS.

D. G. 全員参加でワイズにパワーを /
 メネットも共に。

P. ONWARD CENTENNIAL.

◇ お誕生日おめでとう

藤井保男 君 1946. 9. 12

松崎久子さん(M) 9. 30

◇ 結婚記念日おめでとう

皆本勝久・恵子夫妻 9. 24

8月例会 出席者 [在籍会員34名]

	第1例会	第2例会	Make up	集 計
メ ン	20名	18名	5名	25名
出席率	58.82%			73.53%
メネット	6名	1名		
ヴィジタ	5名	3名		
新 人	1名			
合 計	32名	22名		

○ヴィジター

篠田桂司君(中西部長)、羽田野彌君(堺)、
 木下百太郎君・西山瑞彦君(長野)、遊上義一君、
 生地幸雄君、渡辺藤一郎君(大阪)

○メネット

鈴木・遊上・黒田・山中・森・森田各メネット

○新 人

平田雅利君(2回目)

○ 8月例会の記録 [8月18日(水)]

8月は納涼特別企画として、ローゼンタール肥後橋に席を設けてビア・パーティ形式で行われた。その上、篠田中西部長の公式訪問を受けて楽しく且有意義な例会となった。

開会・ワイズソングのあと鈴木謙介君より歓迎と紹介のスピーチ、続いて篠田部長のごあいさつを受けた。山中会長が出席者紹介、役員会報告を行い、早速にビア・パーティに入る。ジョッキを傾けつゝメン・メネットの3分間スピーチが始まったが、いずれ劣らぬ多芸多才揃いで歌あり踊りあり、韓国語のスピーチからスワヒリ語のゲームまで飛び出し、わがクラブの幅の広さを立証。

しめくゝりに、先般国際大会でボランティア賞を受賞された鈴木メン・メネットの報告があり、全員称賛のうちに閉会となった。今回は長安副会長の肝入りもあって、アサヒビールからの寄贈も頂戴し、お腹も心も満ち足りた愉快な集いであった。

〔篠田中西部長あいさつ要旨〕

このクラブは皆さん英語の達者揃いと聞いている。ワイズメンズクラブは、もとより国際的な運動であるが、日本全体を見るときその成果が十分できているとはいえない。そういう点からセンテニアルクラブのこれからの国際的な活躍を大いに期待している。

中西部長のスローガンとして「全員参加でワイズにパワーをメネットも共に」と打ち出している。メネットさんは出来る限り例会に出席してほしい。たゞ顔を出すのでなく例会運営にも参画する。それがクラブのパワーアップになる。メネットさんが全員参加すればクラブパワーは倍以上強力となるわけです。

できるだけ他クラブにメイキャップをして頂きたい。年間各自2～3回は他クラブに出席して、これからのクラブ運営の参考にしてほしい。

○ 8月第2例会の記録 [8月25日(水)]

第2例会は、ロイヤルNCB会館の現場でチャーターナイト準備委員会を開いた。大阪クラブから道上会長、生地君、渡辺君が応援に参加され貴重なアドバイスを頂いた。

プログラムの細部の確認、各クラブへの案内とゲスト勧誘、当日の役割分担や必要経費などの検討を行い、最後に会場を検分して解散した。今後、9月1日(水)8日(水)17日(金)22日(水)と会合を重ねるが、委員でない方も出来る限り出席して頂くよう、特に22日は現場でリハーサルをすることになるのでメンバー全員の参加を要請することを決めた。

Y M C A ニュース

○青少年育成国民会議が毎年実施している“国際交流指導者招へい事業”で、今年もアジア・アフリカのYMCA主事3名が来日します。そのうちザンビアのキトウエ地区YMCA総主事、リチャード・M・カイラ氏が9月20日～27日大阪Yで研修されますので、チャーターナイトで皆様に

○先輩クラブ9月例会情報

1日(水) 枚方クラブ	3日(金) 長野クラブ
7日(火) サウスクラブ	8日(水) 千里・高槻
9日(木) 堺クラブ	11日(土) 奈良クラブ
13日(月) 田辺クラブ	14日(火) 大阪クラブ
15日(祝) '82 YMCA カーニバル(六甲山)	
16日(木) 河内・和歌山	17日(金) 泉北クラブ
18日(土) 中西部評議会	21日(火) 土佐堀・豊中
24日(金)～26日(日) 日本YMCAセミナー	

○チャーターナイト出席依頼に各クラブ訪問

山中 秀 男

チャーターナイトを一ヶ月後に控え近隣および今後身近にご指導いただくクラブを、挨拶と出席依頼のため訪問した。キャリアと顔の広さでは当代日本、いや世界随一の鈴木書記の先導で大阪クラブ8月例会に山中が同行。設立総会の時の謝辞とチャーターナイトへのご出席をお願いした。さらに鈴木書記より物心両面に亘る今後の援助を請いチャーターナイトの案内をした。引続き8月11日土佐堀クラブ8月例会へ。こゝは家族会と銘打って国際クリスチャンセンターで行われ、メネット・コメット参加の火にぎわいの中、同クラブより移籍された谷川、中村両君に鈴木書記、山中が打揃い、大阪クラブ同様に挨拶をした。この家族会、フィナーレは阿波踊り。会長以下ゆかた・白たびにねじり鉢巻きで“踊りゃな損、損”。我々も輪の中に入れて、“チャーターナイトに来なけりゃ損、損”と合い和し盛り上りの中終了した。

山中会長宅でバーベキューパーティ

—ニューヨークマックバーニーYMCA総主事一行—

去る8月8日より12日まで、USA・YMCA ASIA Seminar Group一行が来阪した。メンバーには前ニューヨークYMCA国際部主任主事のエリオット氏を団長にマックバーニーYMCA総主事シャーマン氏とその夫人、ニューヘブレン大学(YMCAカレッジの前身)ピーターソン元学長、そして同盟委員のパンシユラ夫人の6名であった。一行は高野山で一泊し、日本の文化に触れ又、近畿日本鉄道副社長、金森茂一郎氏を講師として“Japanese Management Styles”について学習した。

特に今回、センテニアルワイズのチャーターナイトを前にして、山中会長宅にP. I. P.の鈴木謙介夫妻をまじえて、楽しいホームパーティを催した。山中会長は以前ニューヨークに駐在されていた関係で話題が付きなかった。

(YMCA国際・社会奉仕センター 真嶋克成記)

ご紹介する予定です。

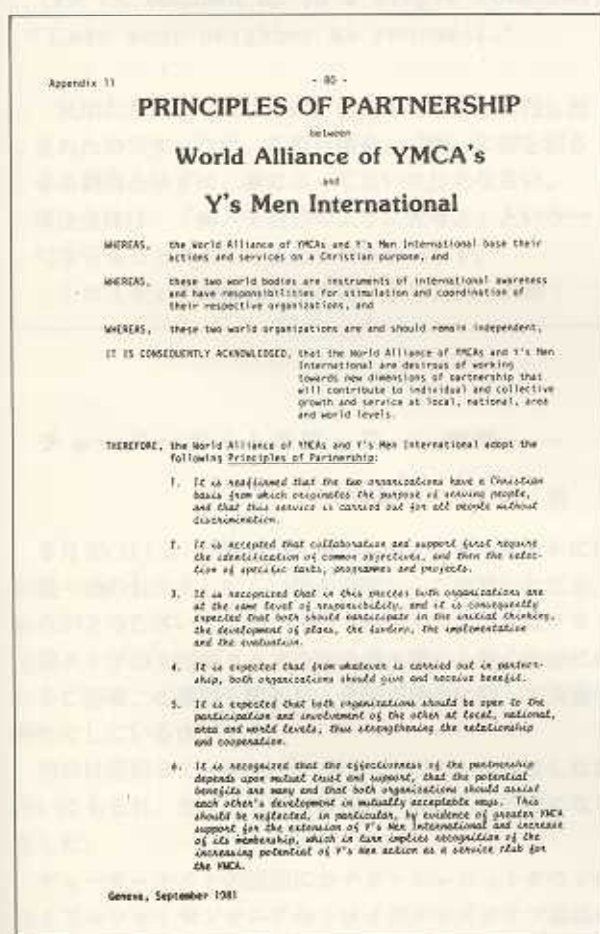
○いま奉仕センターで働いている斉藤千宏君を、ご存じでしょうか。彼はバングラディッシュの農村開発のため数年間現地で奉仕を続けましたが、このほど雑誌“世界”9月号の対談「体験的海外教育論」に登場しています。ご一読をおすすめします。

“PRINCIPLES OF PARTNERSHIP”とは？

日本区IBC・YEEP主任 谷川 寛

最近日本のワイズメンの間でもYMCAとワイズのPARTNERSHIPということが盛んにいわれています。しかし、この両者の間で結ばれた“協力関係の原則”(よきパートナーとなる原則)の内容が、殊に日本語で一般に紹介される機会が少ないようです。

こゝに私の拙い訳文がありますので紹介しましょう。この原則が結ばれるに至ったストーリーは、いずれ再度、鈴木PIPにご説明していただけたらと思います。



◇ ◆ ◆
《 編 集 後 記 》

◇いよいよチャーター本番。「さすがはセンテナル」と皆さんから祝っていただける会にしたいものです。ブリテンも今回で0の練習番号を卒業し、10月からは暗れて本番に入らせていただきます。よろしくご支援をお願いします。

◇今号では特に“パートナーシップ”の原則について、1ページを費やしました。先号の“国際大会レポート”でもこの点がクローズアップされていたことが報告されています。チャーターを機にこの点について理解を深めておきたいものです。(T.Y.)

協力関係の原則

(よきパートナーとなる原則)

- 前文1. YMCA世界同盟とワイズ国際協会は、両者ともにキリスト教精神に基づき活動し、奉仕する団体である。
2. この2つの世界的団体は、共に国際感覚を有する組織であり、両者互に刺激し合い、協力し合っていく責任を有する。
3. この2つの世界的団体は、今まで各々独立して存在して来たとし、今後も独立して存在することが望ましい。

以上の前提のもとに、YMCA世界同盟と、ワイズ国際協会は、今後新しい協力関係を打ち立てることが求められていることを、双方は確認する。この新しい協力関係の基では、YMCAとワイズは各地で各国で、世界の各地域で、そして世界レベルで、各々独自に、または協調して成長発展し、奉仕を続けることが望ましい。

ここに、YMCA世界同盟とワイズ国際協会は、以下の“協力関係の原則”を採択する。

1. 両者はキリスト教精神に基づき、人々に奉仕することを目的とし、その奉仕はあらゆる人々に対して、わけ隔てなく行なわれることを確認する。
2. 両者の協力関係は、まず両者の共通目的が何であるかを自覚することから始め、その上でどのような具体的課題、プログラム、事業を選定するかの手順を踏むことで、両者が同意する。
3. 両者はこの過程で、責任を同等に分け合うことを確認し、最初の構想の段階から両者が参画し、計画の進め方、資金負担、実施、反省、評価の段階まで、等しく分担することを期待する。
4. 両者は協力して、いかなることを実行するにあっても、お互いに等しく恩恵を与え、また恩恵に浴することを期待する。
5. 両者は、各地で、各国で、世界の各地域で、そして世界のレベルで、各々自由に相互に参画し合うことが出来るようにし、このようにして、協力関係の強化を計ることを期待する。
6. この協力関係が、その効果を発揮するか否かは、両者の相互の信頼と、協力に掛っていること、また、この協力関係から両者が受ける恩恵は計り知れないものがあること、さらには、両者はお互に納得する方法で、相互の発展に向け助け合うべきこと、以上のことを改めて確認する。

このような協力関係は、具体的には、YMCAがワイズの拡張と、その会員の増強を支援する形で反映されることが望ましい。これは取りも直さずワイズがYMCAのサービス・クラブとして行動する上で、その潜在的な力を認めることにつながる。

以上